

寺社を巡る会

活動記録書

開催日： 平成27年7月2日（木）天候 雨	開催テーマ： 三浦三十三観音巡り
開催場所： 三浦南部	記入者： 金久保 常二
参加人数： 寺社を巡る会会員 男 24名 女 6名 計 30名 ビジター 男 0名 女 0名 計 0名 合 計 30名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：金田バス停（徒歩）～ 第八番清伝寺 ～第七番福寿寺 ～福泉寺～松輪会館（昼食） ～地蔵堂～第六番観音堂 ～松輪海岸バス停（バス）～大乘バス停（徒歩）～第五番海応寺～大乘バス停（バス）～三浦海岸駅（解散） 三浦三十三観音とその周辺を巡るコースは、第1回（平成26年6月5日）スタートして以来、三浦、横須賀、逗子、葉山の全札所を廻り、本日の12回目にして結願を迎える事が出来た。 本日訪れた8、7、6、5番札所、全てが臨済宗の寺院である。 最初に訪れた清伝寺は、橙色の明るい瓦葺き屋根でした。珍しい、ねこ供養地蔵塔があり、川淵で鱸が釣れた「すずの川」や河童の詫証文伝説が残っている。次は福寿寺。ここは三浦義村開基のお寺である。三浦氏との関係が深いお寺が三浦半島には多くある。三浦義村の墓は福寿寺からも、ほど近い所にあった。本堂内には「勝軍地蔵菩薩」が祀られ、義村が使用したと云われる「鞍、鐙」をガラス越しに拝見する。松輪会館で昼食。松輪港を一望できる小高い丘の中腹の観音堂を開扉して頂き、聖観音を拝観する事ができた。最後の訪問となった海応寺が三浦三十三観音札所巡りの結願寺となった。やや内陸部にある海応寺への道程には、一面のスイカ畑の緑と標高が高くなるにつれての景色は雨もやの中で最高でした。宮川公園内にある風車2基が良く見えました。 予定通り探訪は終わった。三浦三十三観音と寺社を巡る会との別離を悲しむが如く、降りしきる雨は消え失せる事が無かった。三浦海岸駅でよこすかシティガイド協会と寺社を巡る会との最後のご挨拶で解散した。	
参加者の状況・意見など： よこすかシティガイド協会による「三浦三十三観音とその周辺を巡る」探訪は終わった。その中で「バス停」集合が何回かあった。その際には最寄り駅を集合場所として、参加者全員でバス停に向かう方法が分かりやすいし、不安はない。そして参加しやすいと感じたのは小生だけだろうか？	
次回の予定：座学 DVD鑑賞「百寺巡礼 IX」 日時：8月14日（金）PM12：15～ 場所：富岡並木地区センター 2F 中会議室	
その他：	